

中小企業景気動向調査（県西地区版）

令和7年1～3月期実績と令和7年4月～6月期見通し
 ≪特別調査≫外国人・海外情勢と中小企業

前期（令和6年10月～令和6年12月期 実績）
 今期（令和7年1月～令和7年3月期 実績）
 来期（令和7年4月～令和7年6月期 予想）

調査方法

調査日 令和7年3月上旬
 調査地域 小田原市、南足柄市、秦野市、足柄上郡、足柄下郡、中郡
 全調査先数 当庫取引先317社
 調査対象 当庫取引先314社
 （製造業27.4%、卸売業11.1%、小売業16.2%、サービス業18.8%、建設業18.5%、不動産業8.0%）
 有効回答率 99.1%
 分析方法 各質問項目で、「増加（上昇）」したとする企業が全体に占める構成比と、「減少（下降）」したとする企業の構成比との差（DI・判断指数）を中心にして分析を行いました。

業種別業況天気図（県西地区）

	令和6年 1月～3月	令和6年 4月～6月	令和6年 7月～9月	前期 令和6年 10月～12月	今期 令和7年 1月～3月	来期見通し 令和7年 4月～6月
総合					↓	↓
製造業					↓	↑
卸売業					↓	↑
小売業					↓	↓
サービス業					↓	↓
建設業					↓	↓
不動産業					↑	↑

好調 ← → 低調
 改善 ↑
横這い →
悪化 ↓

業況DI、売上DI、収益DIはそれぞれ大幅に悪化

業況DI



前期比10.6ポイント悪化の▲9.6となり、前回調査時の今期予想DIである▲8.3を下回り、前年同期DIの▲10.0を上回りました。
業種別では不動産業は改善、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業は悪化となりました。
また、来期については、1.7ポイント悪化の▲11.3となる見通しです。

売上DI



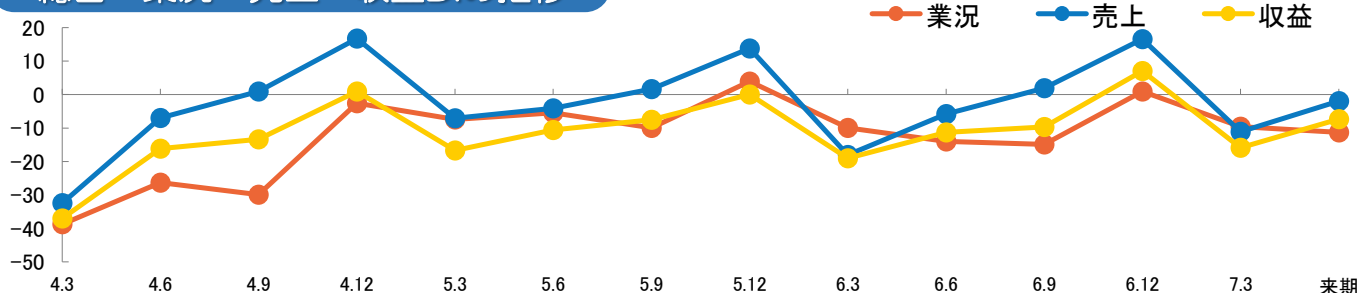
前期比27.7ポイント悪化の▲11.1となり、前回調査時の今期予想DIである▲8.0を下回り、前年同期DIの▲18.0を上回りました。
業種別では不動産業は改善、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業は悪化となりました。
また、来期については、9.2ポイント改善の▲1.9となる見通しです。

収益DI



前期比22.9ポイント悪化の▲15.9となり、前回調査時の今期予想DIである▲11.2を下回り、前年同期DIの▲19.0を上回りました。
業種別では不動産業は改善、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業は悪化となりました。
また、来期については、8.5ポイント改善の▲7.4となる見通しです。

総合 業況・売上・収益DIの推移



地区別のDI

業況DI・地区別推移

地区	6.12	7.3	(前期比)	来期	(今期比)
小田原中央	▲2.4	▲10.3	▲8.0	▲0.8	9.5
小田原川東・中郡	▲1.9	▲15.7	▲13.8	▲27.5	▲11.8
足柄上郡・秦野	▲9.4	▲12.8	▲3.4	▲20.7	▲7.9
足柄下郡	30.6	4.1	▲26.5	▲8.2	▲12.2

売上DI・地区別推移

地区	6.12	7.3	(前期比)	来期	(今期比)
小田原中央	17.3	▲17.2	▲34.5	6.3	23.5
小田原川東・中郡	19.2	▲7.8	▲27.1	▲3.9	3.9
足柄上郡・秦野	2.4	▲9.3	▲11.7	▲10.5	▲1.2
足柄下郡	36.7	▲2.0	▲38.8	▲6.1	▲4.1

収益DI・地区別推移

地区	6.12	7.3	(前期比)	来期	(今期比)
小田原中央	9.4	▲18.8	▲28.2	▲0.8	18.0
小田原川東・中郡	0.0	▲15.7	▲15.7	▲11.8	3.9
足柄上郡・秦野	▲5.9	▲14.0	▲8.1	▲11.6	2.3
足柄下郡	30.6	▲12.2	▲42.9	▲12.2	0.0

業況DI推移

業況DIはすべての地区で悪化となりました。
また、来期の業況DIについては、小田原中央地区では改善、それ以外の地区では悪化となる見通しです。

営業店のコメント

小田原中央地区

- 小田原駅前から小田原城にかけて、また小田原漁港周辺の人通りは増加傾向にある。
- 仕入価格の度重なる高騰に対し価格転嫁が追い付いていない企業が多く、収益性の低下が課題として多く挙げられている。

小田原川東・中郡地区

- 箱根・小田原駅周辺の好調なインバウンド需要の恩恵を受ける取引先は少ない。
- 自動車関連部品製造業では受注量減少が続くなど、取扱製品により明暗が分かれている。

足柄上郡・秦野地区

- 従前の収益を得るほどの価格転嫁に至っていない中でベースアップを実施する事業者が多く、厳しい収益状況となっている。
- 特殊な技術や他社との差別化を図ることができる企業に受注が集中し、業績は二極化している。

足柄下郡地区

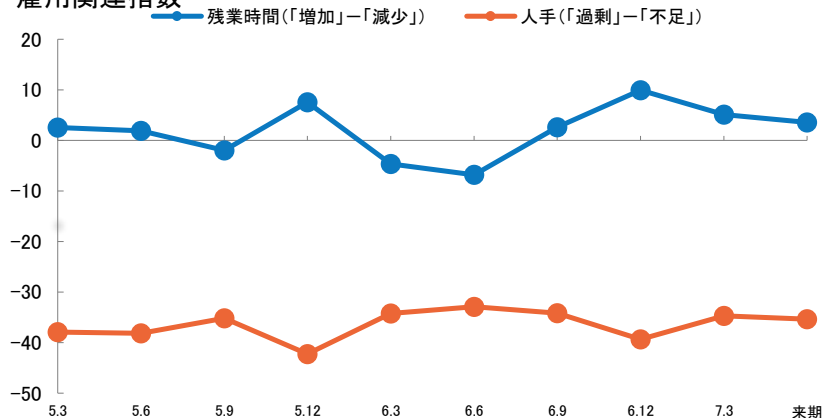
- 箱根町の旅館業は総じて景況感の良いものの、2万円前後の価格帯の旅館は厳しい状況にある。
- 箱根・熱海エリアの宿泊費が高騰する中、比較的宿泊費が安価な湯河原へ日本人観光客が流れており、特に1万5千円前後の価格帯では特需の恩恵を受けている。

雇用

残業時間DIは前期比4.8ポイント低下の5.1となり、人手DIは前期比4.7ポイント上昇の▲34.7となりました。残業時間は減少し、人手不足感は弱まりました。

なお、来期については残業時間DIは1.6ポイント低下の3.5となり、人手DIは0.7ポイント低下の▲35.4となる見通しであり、残業時間は減少し、人手不足感は強まる見通しです。

雇用関連指数

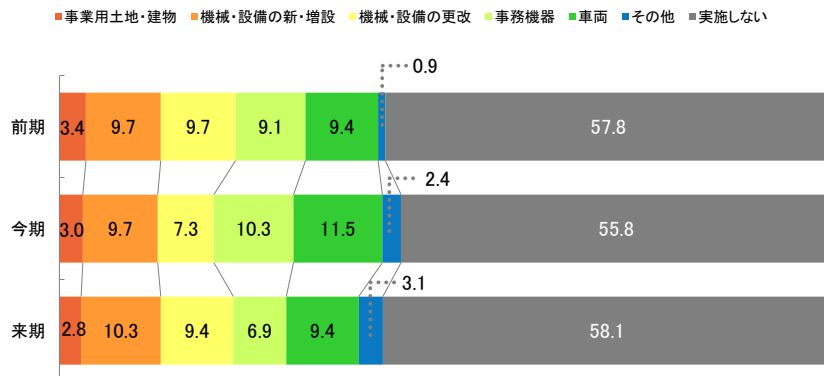


設備投資

今期の設備投資の実施状況については、「事務機器」・「車両」・「その他」は増加した一方で、「機械・設備の新・増設」は横ばい、「事業用土地・建物」・「設備・機械の更改」は減少となりました。なお、「実施しない」は減少し、設備投資意欲は上昇しました。

来期の設備投資の実施予定については、「機械・設備の新・増設」・「機械・設備の更改」・「その他」は増加となる一方で、「事業用土地・建物」・「事務機器」・「車両」は減少する見通しです。なお、「実施しない」は増加し、設備投資意欲は低下する見通しです。

設備投資の実施状況(複数回答、単位:%)

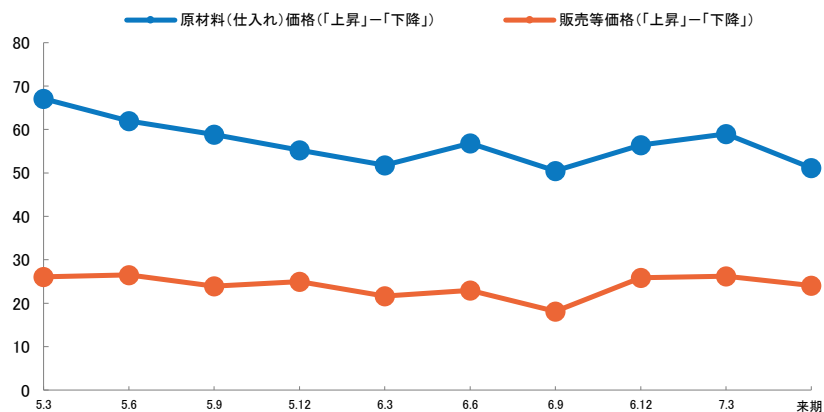


販売・仕入価格

販売等価格DIは前期比0.3ポイント上昇の26.2となり、原材料(仕入れ)価格DIは前期比2.6ポイント上昇の59.0となりました。

なお、来期については、販売等価格DIは2.2ポイント低下の24.0となり、原材料(仕入れ)価格DIは7.9ポイント低下の51.1となる見通しです。

価格関連指標

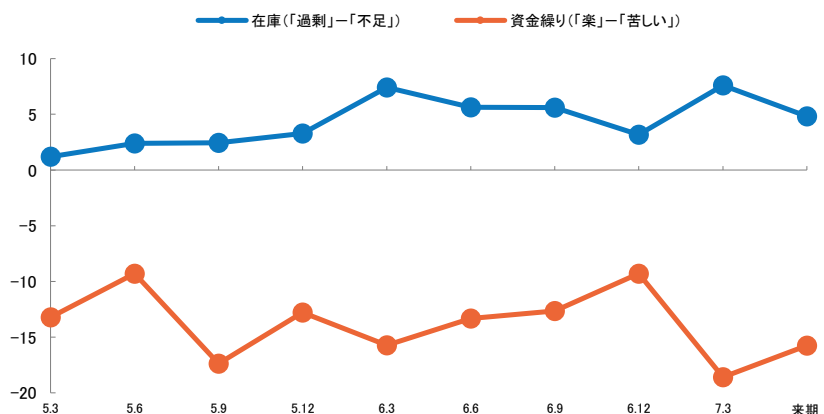


在庫・資金繰り

在庫DIは前期比4.4ポイント上昇の7.6となり、資金繰りDIは前期比9.3ポイント低下の▲18.6となりました。

なお、来期については、在庫DIは前期比2.8ポイント低下の4.8となり、資金繰りDIは2.8ポイント上昇の▲15.8となる見通しです。

在庫・資金繰り指標



好調←



→低調

改善



横這い



悪化



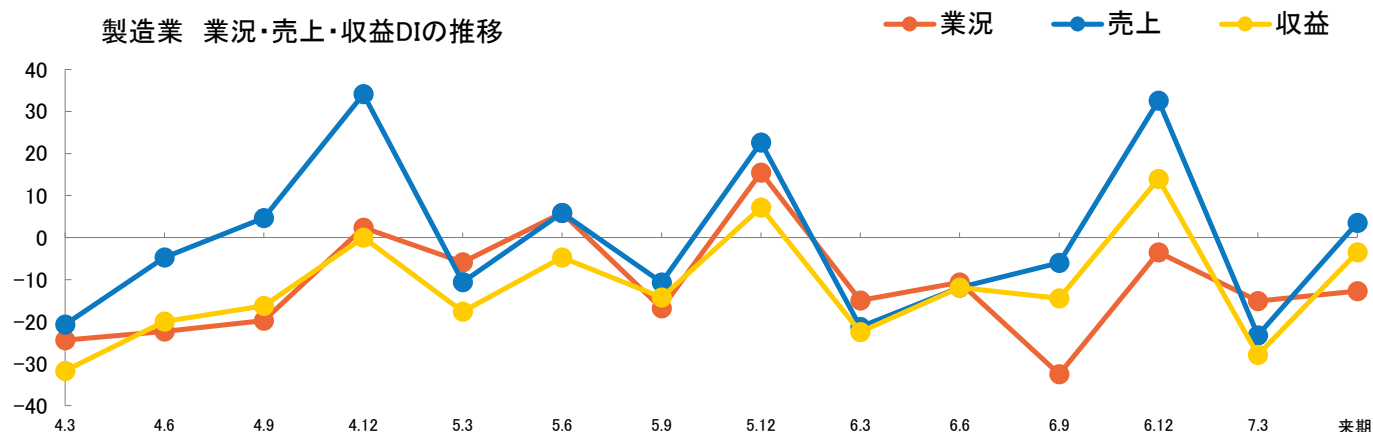
製造業

景況

業況DI・売上DI・収益DIはそれぞれ大幅に悪化

業況DIは、前期比11.6ポイント悪化の▲15.1となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである▲7.0を下回り、前年同期DIの▲15.0も下回りました。来期については2.3ポイント改善の▲12.8となる見通しです。

製造業 業況・売上・収益DIの推移

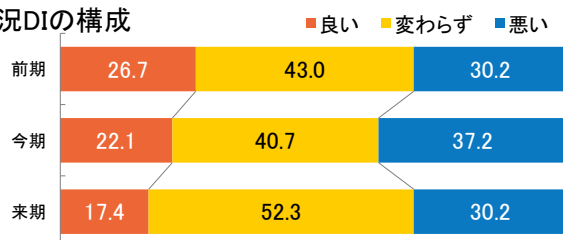


業況・売上・収益DI

業況DI



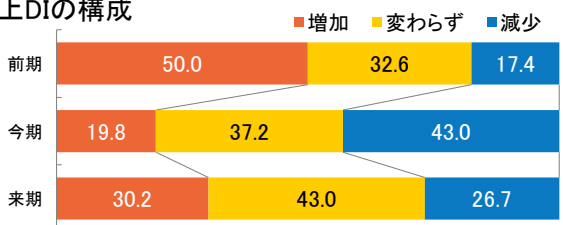
業況DIの構成



売上DI



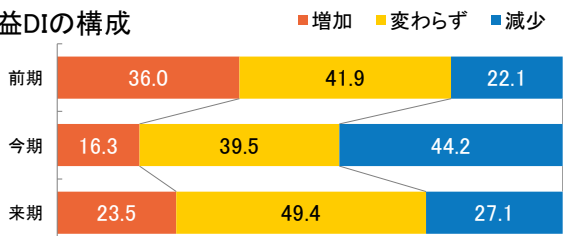
売上DIの構成



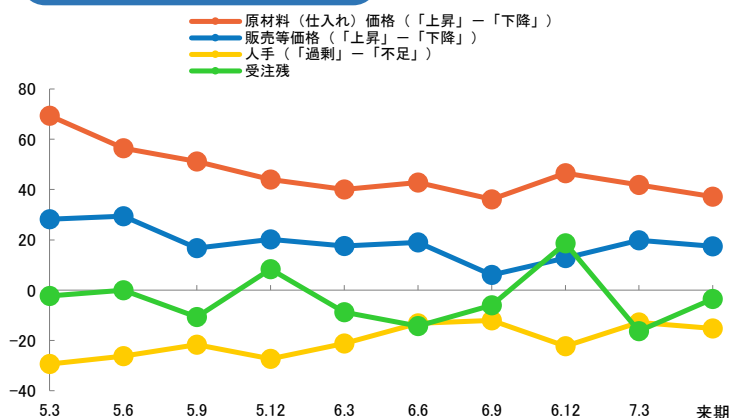
収益DI



収益DIの構成

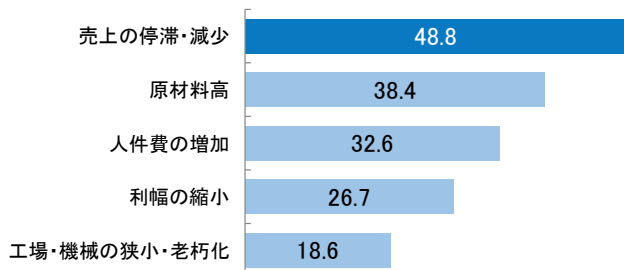


その他の指標推移



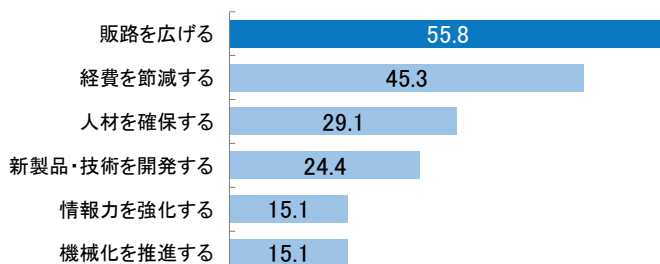
経営上の問題点

(複数回答、単位：%)



当面の重点経営施策

(複数回答、単位：%)

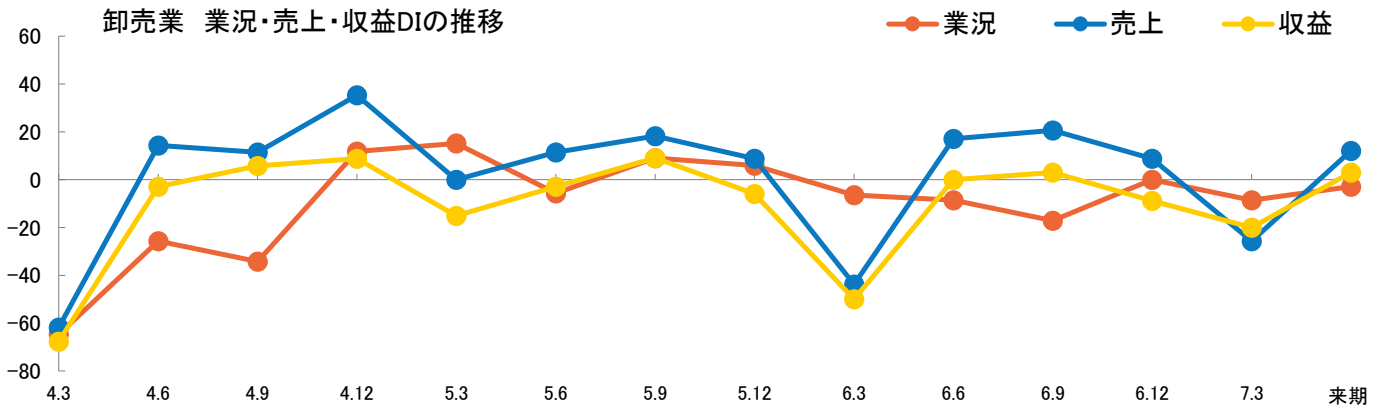


卸 売 業

景 況

業況DIは悪化、売上DI・収益DIはそれぞれ大幅に悪化

業況DIは、前期比8.6ポイント悪化の▲8.6となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである▲5.9を下回り、前年同期DIの▲6.5も下回りました。来期については、5.7ポイント改善の▲2.9となる見通しです。

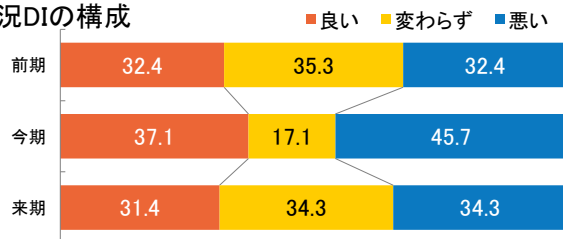


業況・売上・収益DI

業況DI



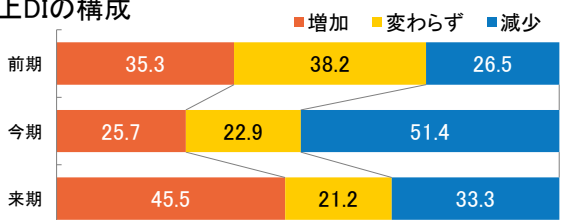
業況DIの構成



売上DI



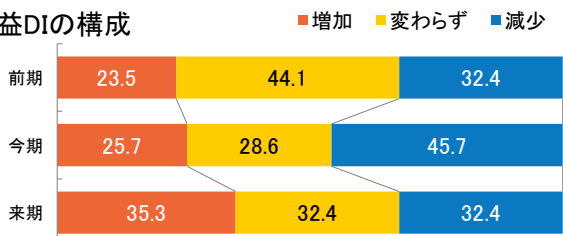
売上DIの構成



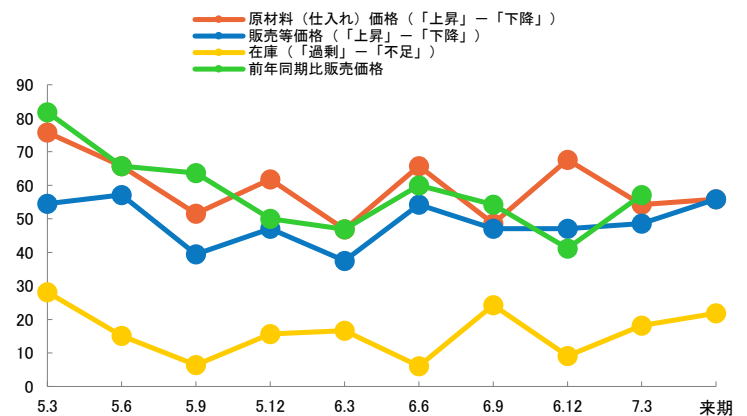
収益DI



収益DIの構成

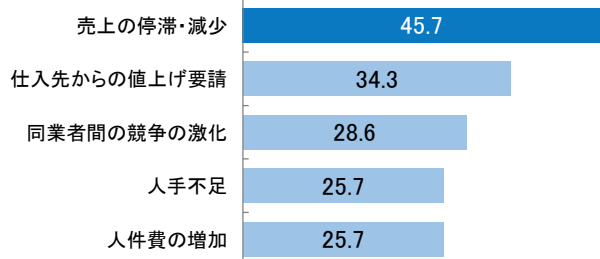


その他の指標推移



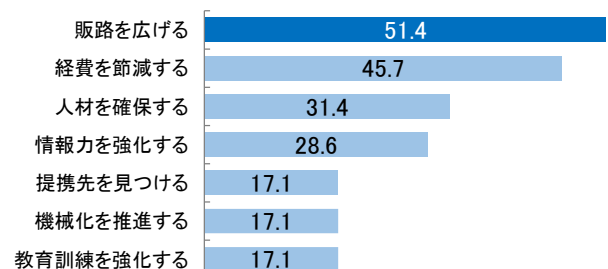
経営上の問題点

（複数回答、単位：%）



当面の重点経営施策

（複数回答、単位：%）



好調←



→低調

改善



横這い



悪化



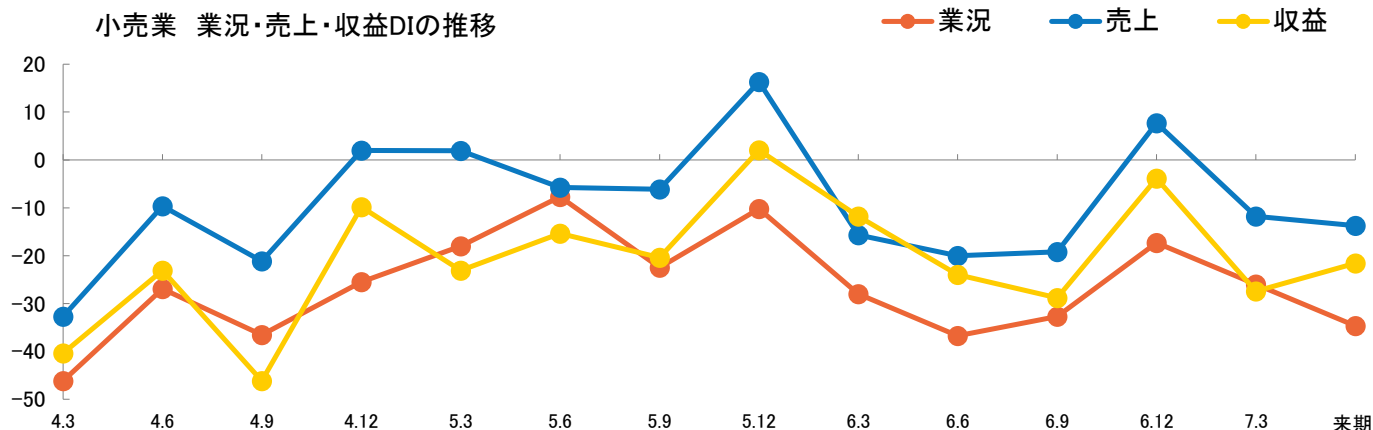
小 売 業

景 況

業況DIは悪化、売上DI・収益DIはそれぞれ大幅に悪化

業況DIは、前期比8.7ポイント悪化の▲26.0となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである▲25.5を下回り、前年同期DIの▲28.0を上回りました。来期については、8.7ポイント悪化の▲34.7となる見通しです。

小売業 業況・売上・収益DIの推移

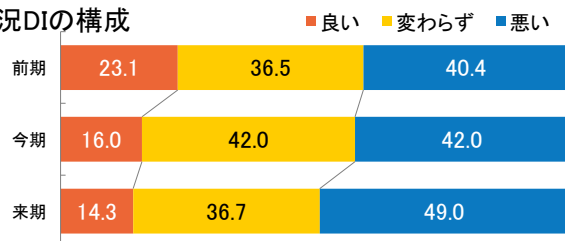


業況・売上・収益DI

業況DI



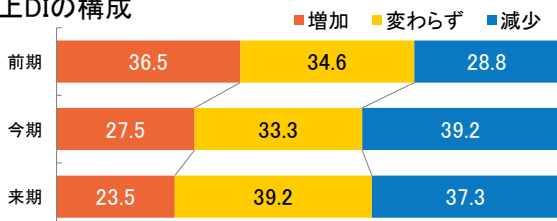
業況DIの構成



売上DI



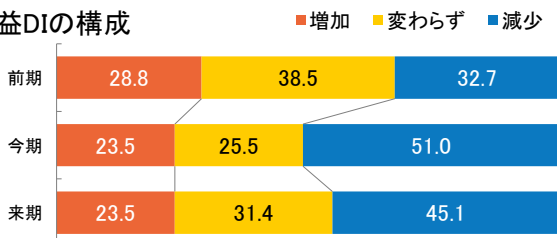
売上DIの構成



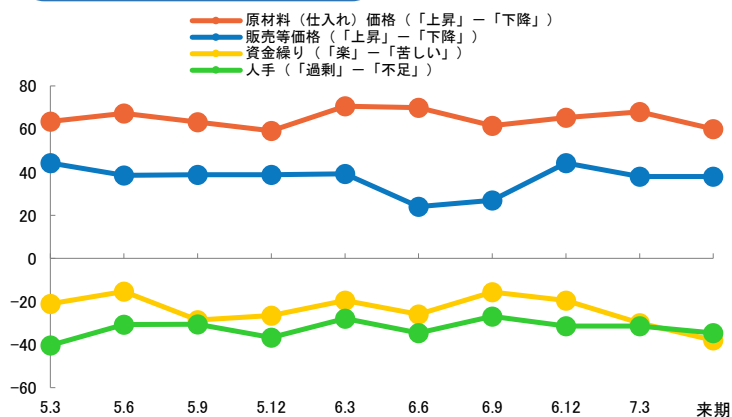
収益DI



収益DIの構成

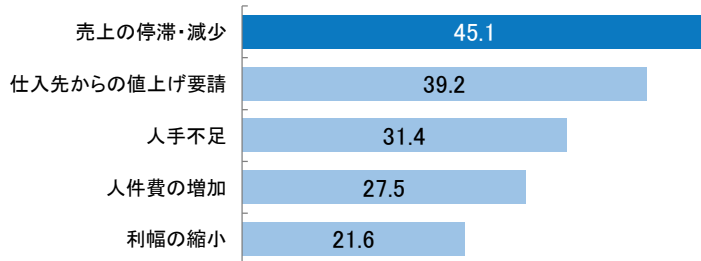


その他の指標推移



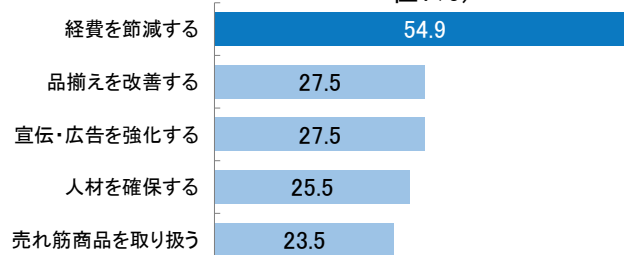
経営上の問題点

(複数回答、単位：%)



当面の重点経営施策

(複数回答、単位：%)



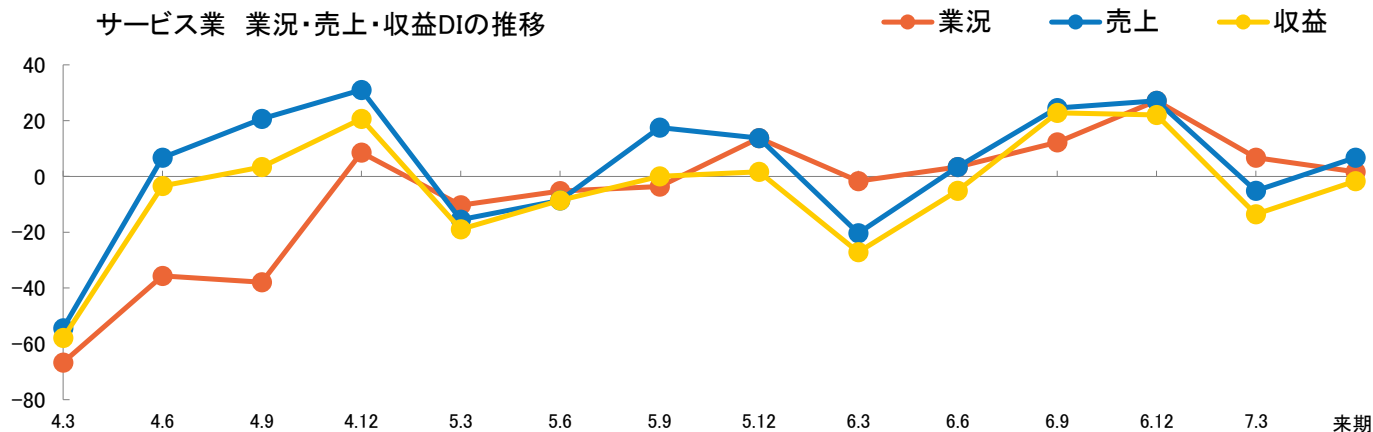
サービス業

景況

業況DI・売上DI・収益DIはそれぞれ大幅に悪化

業況DIは、前期比20.3ポイント悪化の6.8となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである▲5.1を上回り、前年同期DIの▲1.7も上回りました。来期については、5.1ポイント悪化の1.7となる見通しです。

サービス業 業況・売上・収益DIの推移

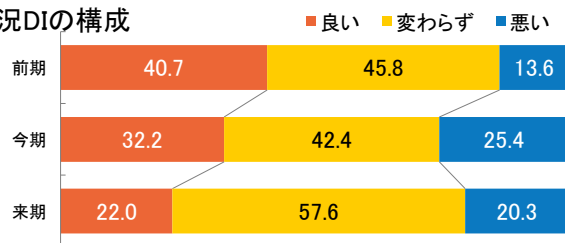


業況・売上・収益DI

業況DI



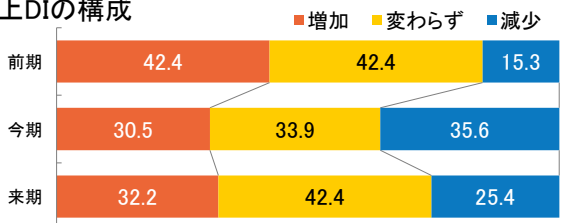
業況DIの構成



売上DI



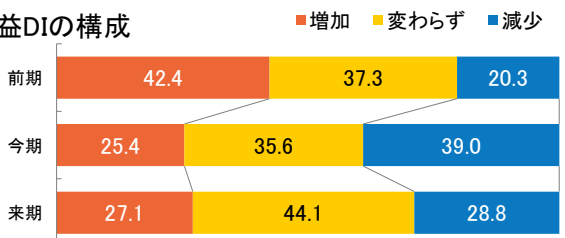
売上DIの構成



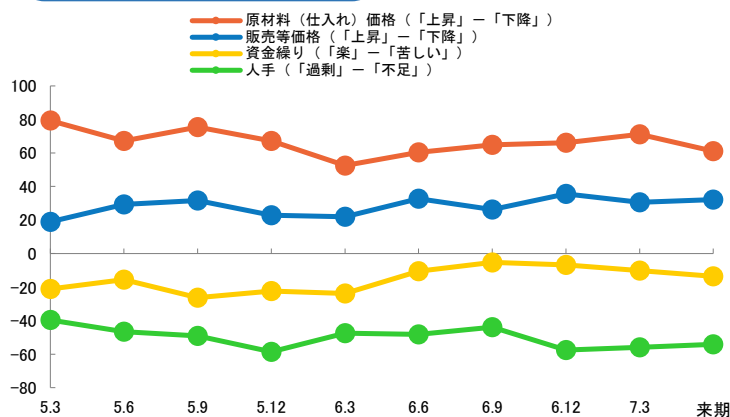
収益DI



収益DIの構成

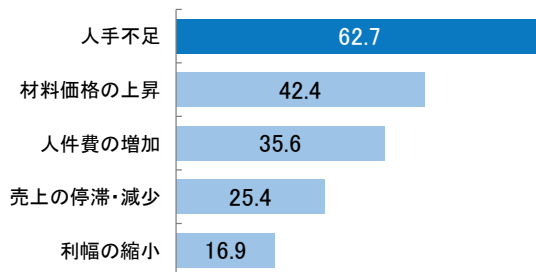


その他の指標推移



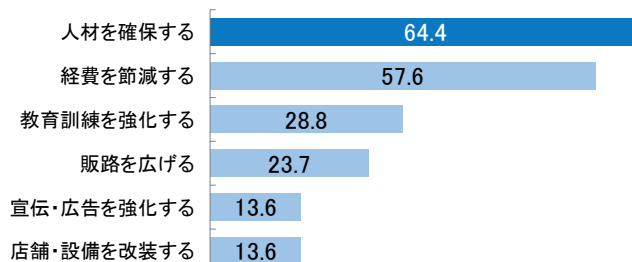
経営上の問題点

（複数回答、単位：％）



当面の重点経営施策

（複数回答、単位：％）



好調←



→低調

改善

横這い

悪化



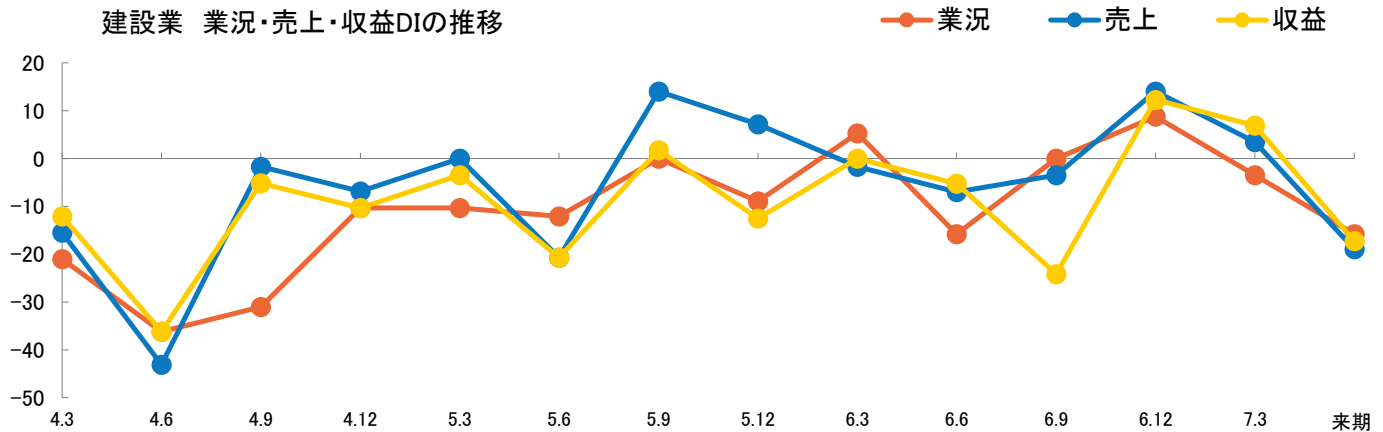
建設業

景況

業況DI・売上DIはそれぞれ大幅に悪化、収益DIは悪化

業況DIは、前期比12.2ポイント悪化の▲3.4となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである1.8を下回り、前年同期DIの5.3も下回りました。来期については、12.4ポイント悪化の▲15.8となる見通しです。

建設業 業況・売上・収益DIの推移

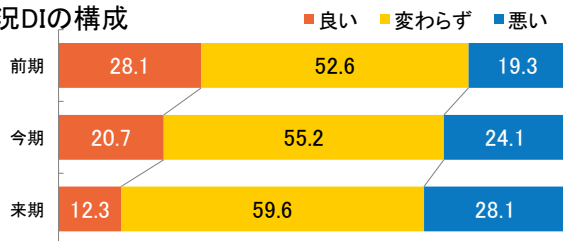


業況・売上・収益DI

業況DI



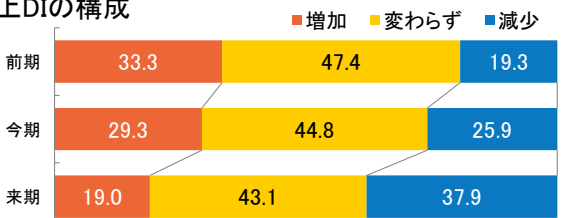
業況DIの構成



売上DI



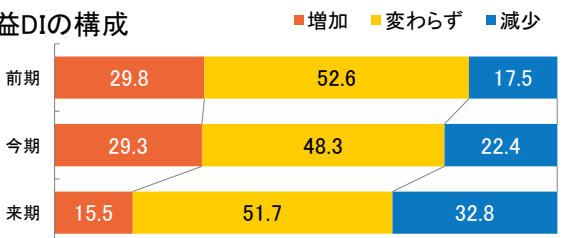
売上DIの構成



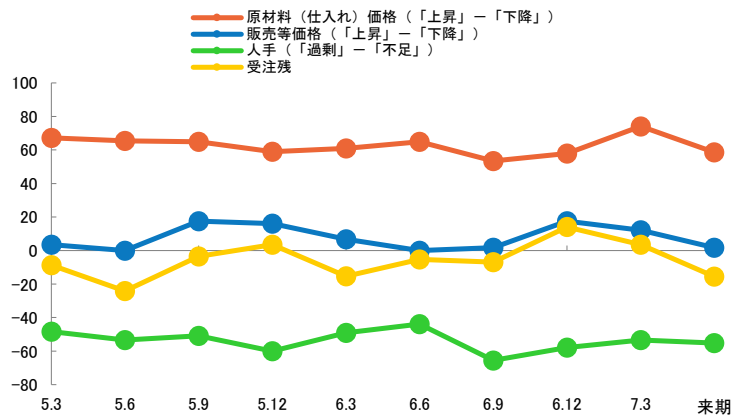
収益DI



収益DIの構成

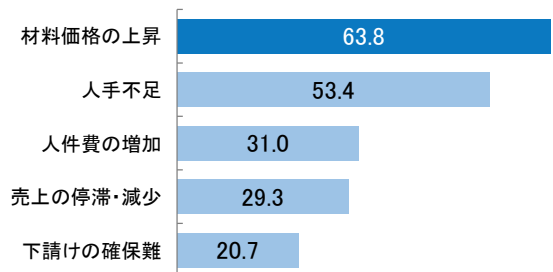


その他の指標推移



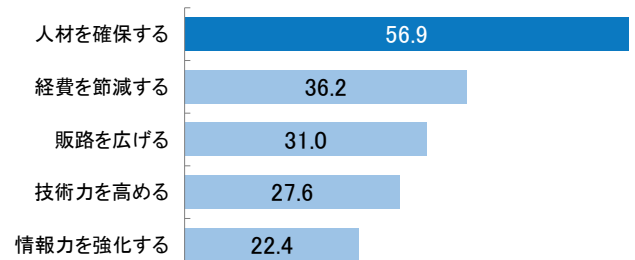
経営上の問題点

(複数回答、単位：%)



当面の重点経営施策

(複数回答、単位：%)



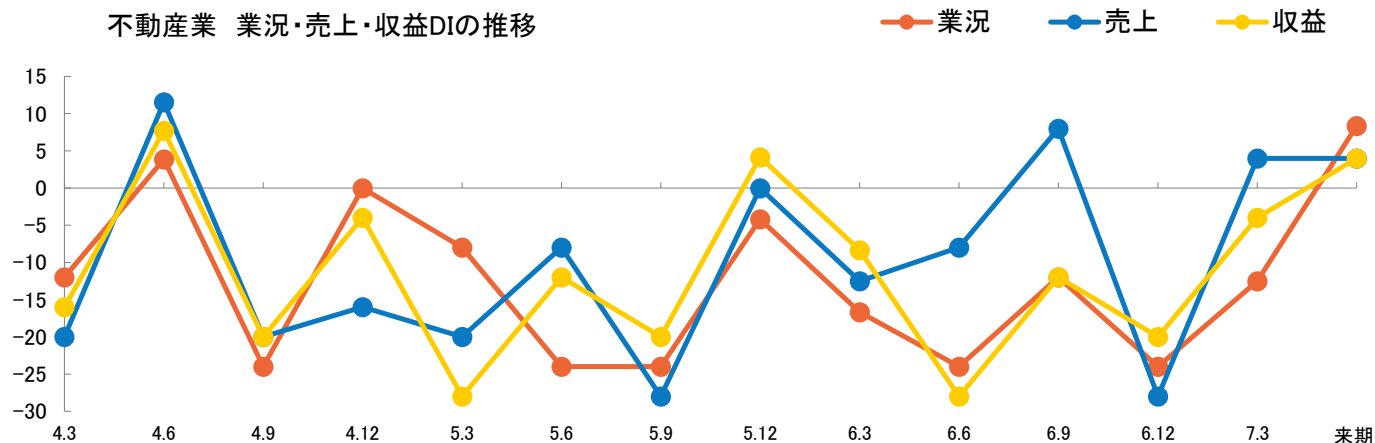
不動産業

景況

業況DI・売上DI・収益DIはそれぞれ大幅に改善

業況DIは、前期比11.5ポイント改善の▲12.5となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである▲12.0を下回り、前年同期DIの▲16.7を上回りました。来期については、20.8ポイント改善の8.3となる見通しです。

不動産業 業況・売上・収益DIの推移

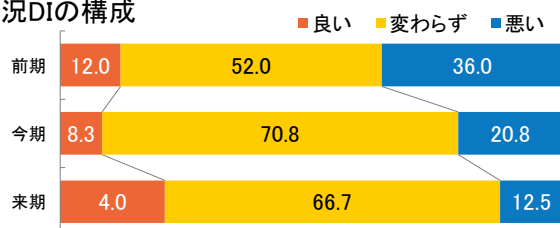


業況・売上・収益DI

業況DI



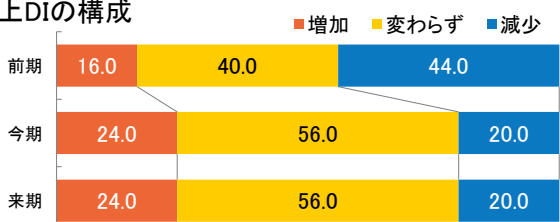
業況DIの構成



売上DI



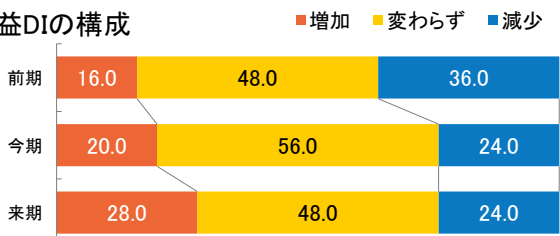
売上DIの構成



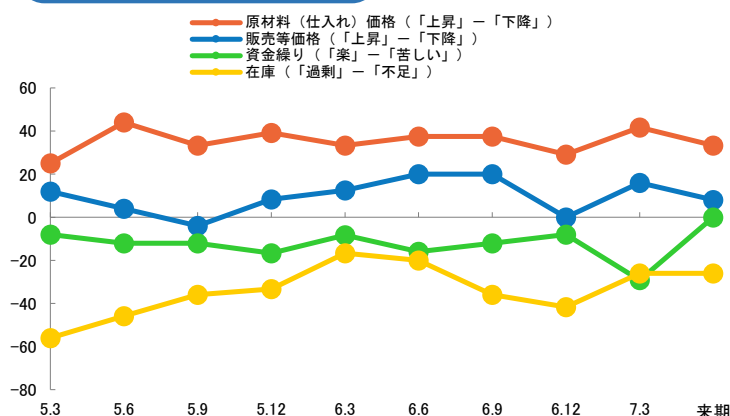
収益DI



収益DIの構成

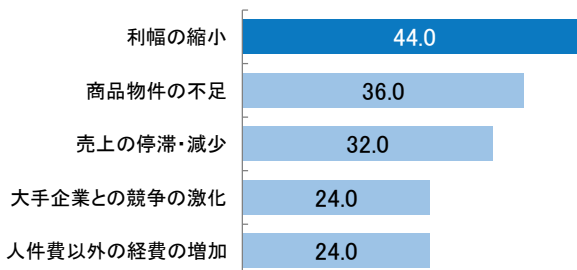


その他の指標推移



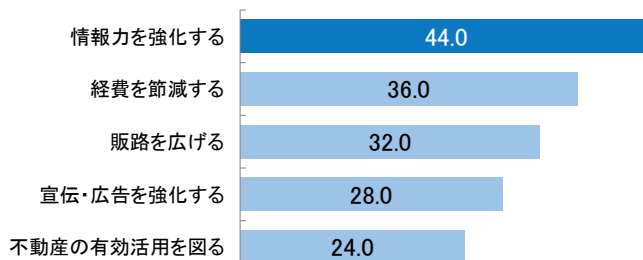
経営上の問題点

(複数回答、単位：%)



当面の重点経営施策

(複数回答、単位：%)

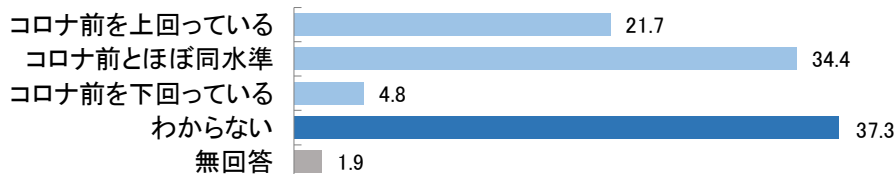


問1

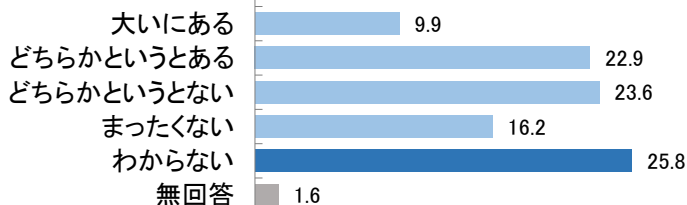
昨今貴社を取り巻く事業環境や地域社会の中で、外国の方と接触する機会がコロナ前の水準に戻っているという実感はありますか。(1つ回答)

また、外国とのかかわりの中で今後ビジネスチャンスを増やしたいという意向はありますか。(1つ回答) (単位: %)

コロナ前の水準に
戻っている実感



ビジネスチャンスを
増やす意向

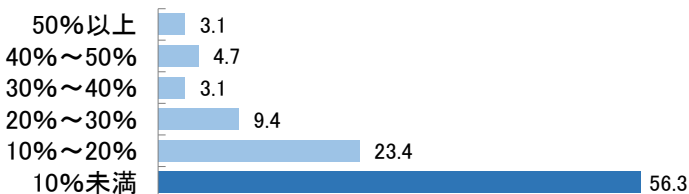


問2

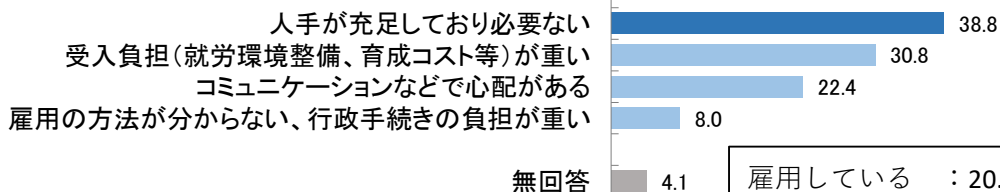
貴社では、外国人労働者を雇用していますか。雇用している場合は、従業員全体に占める外国人労働者の割合を、雇用していない場合は、外国人労働者を雇用していない理由をお答えください。(1つ回答)

(単位: %)

外国人労働者
の割合



雇用していない
理由

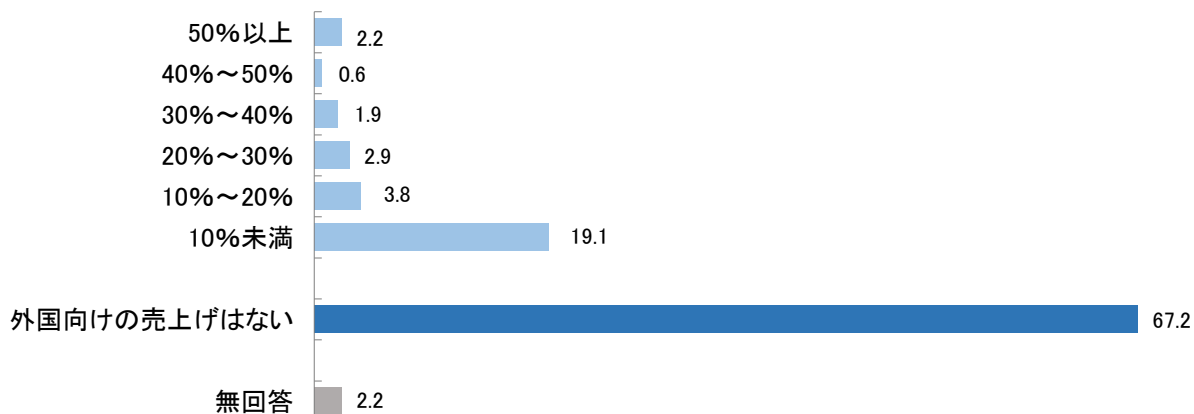


雇用している : 20.4%
雇用していない : 75.5%
無回答 : 4.1%

問3

貴社では、売上全体に占める外国人(旅行客を含む)、もしくは外国企業向けの売上げ(輸出を含む)はどれくらいですか。(1つ回答)

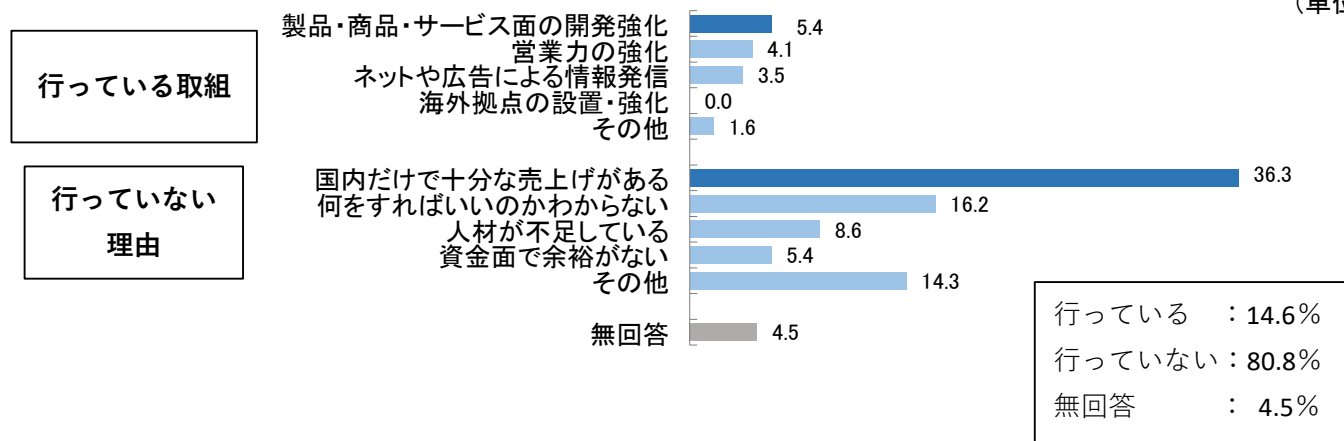
(単位: %)



問4

貴社では、外国向けの売上げを増加させるための取組みを行っていますか。行っている企業は、特に行っている取組みについて、行っていない企業は、行っていない理由についてお答えください。(1つ回答)

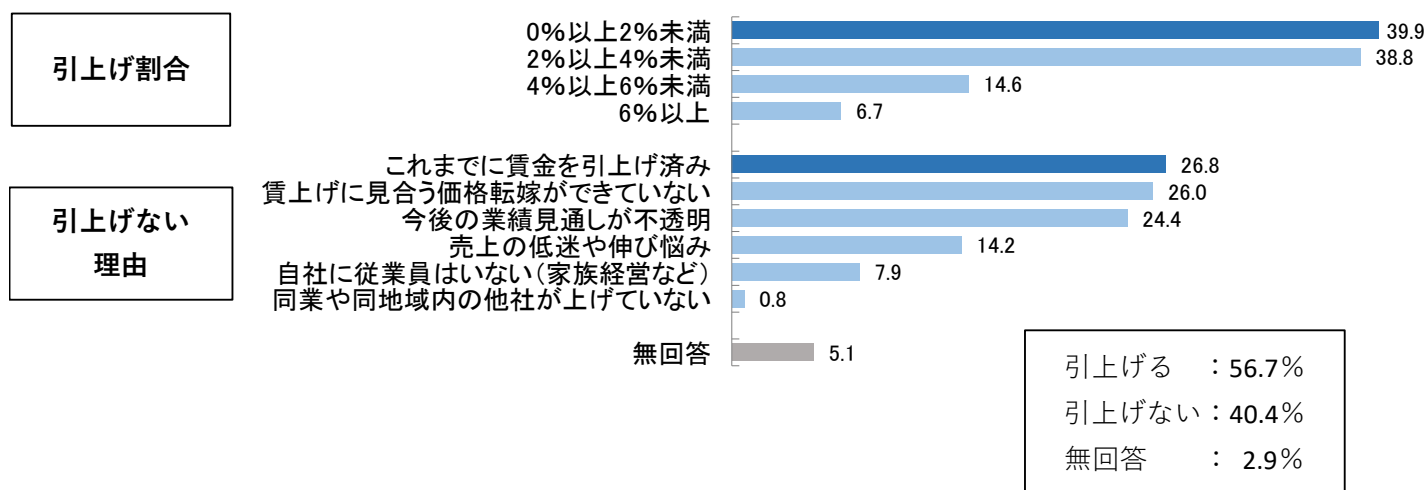
(単位: %)



問5

【特別設問】貴社では、人材定着などに向けて、2025年中に賃金(定期昇給分除く、賞与や一時金除く)の引上げを実施(実施予定含む)しますか。引上げる場合はその賃金引上げ率について、引上げない場合は引上げなかった理由についてお答えください。(1つ回答)

(単位: %)



特別調査に関する営業店のコメント

- 「人手不足」が企業課題であり重点経営施策としているものの、「受入負担」や「コミュニケーションの心配」を理由に外国人の雇用に踏み込めていない事業者は多い。世界的に見ても外国人雇用は通常の流れであり、導入を支援していくことも当金庫の役割のひとつと考える。
- 箱根地区は、建設業以外の業種では地域柄インバウンド需要は無視できず、外国人向け売上比率が高い企業が非常に多い。そのため、殆どの企業で外国との関わりの中でビジネスチャンスを増やしていきたい意向である。
- 主に国内向け事業者が多い中、深刻な人手不足業界である「建設業」、「介護」、「製造業」は現場労働者を外国人労働者が占め、事業継続を左右する貴重な戦力であるとともに、経営層はその管理・コミュニケーションの多様性に柔軟に対応しなければならず、運営上の課題は多い。
- 【特別設問】製造業の多くで賃金引上げが行われている一方で、他業種では業績の見通しが不透明であることや価格転嫁が不十分であることを理由に、引上げないとの回答が多数を占めた。引き続き、賃金引上げの土台となる売上の向上や収益力改善に繋がる支援を行っていく。

あなたのオフィスで
お金のプロになんでも相談&解決!



お金が
貯まらない...

「NISA」「iDeCo」
って何?



安心して
生活できるお金って
一体いくら?

家を買いたい!
いくら借りられる?



さがみ信用金庫の

お金の相談会

お金の心配ごとをプロに相談しませんか?
知っておくと助かる お金の勉強をはじめましょう!

わかりやすく
お伝えします

＼ どんなご相談も歓迎! 最適なアドバイスをご提供／



- ☒ 将来に向けてお金の運用を始めたい
- ☒ ライフプランニング
- ☒ マイホームやマイカーを購入したい
- ☒ 教育資金について
- ☒ ケガや病気など不測の事態に備えたい
- ☒ 将来の年金について

お取引店舗または営業担当者までご相談ください

さがみ信用金庫

総合企画部

TEL : 0465-24-3162

E-mail : souki@sagami-shinkin.co.jp

バックナンバーは当金庫ホームページをご覧ください

さがみ信用金庫 景気動向調査

検索

さがみ信用金庫ホームページ

URL : <https://www.shinkin.co.jp/sagami/about/keikidoukou.shtml>

